

障害者の生涯学習活動の 支援者・伴走者をひろげていくために —生涯学習・社会教育に求められること—

東京都教育庁地域教育支援部
主任社会教育主事

梶野 光信

自己紹介

1967年、横須賀市で生まれる。

現在、東京都教育庁で社会教育施策の立案を担当。

〈私と障害のある人たちとの出会い〉

◇児童作家 灰谷健次郎の「だれも知らない」を読む(中学自体の教員の影響)

◇教員になることを目指し、大学に入ったものの、ふしだらな学生生活を送る。

◇それでも「教育」への関心は持ち続け、大学4年時に学生課の掲示板で見た世田谷区の小学校の特別支援学級の介助員のバイトをはじめ(結局、4年間続ける。)。※この時の経験は、私の財産です！

◇小学校のバイトを続けたいためだけに、大学院への進学を決める。

◇大学院での研究テーマを「教育福祉論」に決める。

◇(なぜか)3年間の修士課程生活を送ったあと、東京都教育委員会に社会教育の専門職(社会教育主事補)として採用される。

自己紹介

〈私と障害のある人たちとの出会い その2〉

◇1年目に担当したのが、都立特別支援学校を会場として実施される「障害者地域交流集会(障害者夏祭り)」、2～5年目にかけて障害児の5日制事業や特別支援学校の開放事業を担当する。

※この4年間で、たくさんの特別支援学校の先生方や保護者の方々と出会う

◇青年の家職員として在籍していた3年間も、都立特別支援学校の学校開放事業の見直しに関わり、「障害者本人講座」「ボランティア養成講座」への事業転換を図ることに関わる。

◇昨年度、文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の検討会」の委員に就任する。

◇2022年度から、文科省「学校卒業後の障害者の学びの支援に関する実践研究事業」を東京都教育委員会として、実施する予定。

私自身が障害のある子どもたちから学んだこと

「教育」的な関わり方がまったく通じない・・・
(私が教えてやろうという姿勢で関わると頑なに拒否される)

彼ら彼女らの世界観に触れて・・・
(彼ら彼女らが発することばの意味を理解できた時・・・)

「発達」という概念がストンと胸に落ちる・・・
(1年かけて、自分の名前が書けるようになったMさん)
(他の児童に支えられ、一人で学童に通えるようになったYさん)

自分自身の思い込み、固定観念が打ち破られる経験

これぞ
社会教育
の学び

障害のある子どもたちとの関わり方が根本的に変わっていく

この25年間で何が変わったか？

概念レベル

「ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)」という概念が登場(2000年12月)

「発達障害」という考え方が急激に普及(発達障害者支援法、2004年12月)

「特別支援教育」という考え方が登場し、学校教育が大きく変化(2007年4月)

「障害者の医学モデル」から「障害者の社会モデル」への転換
(国連障害者の権利条約の批准に向け、国内法の整備の一環として、障害者基本法が改正、2011年8月)

「合理的配慮」という概念が普及、定着した(障害者権利条約第2条)

現場レベル

特別教育支援コーディネーターの導入

都立特別支援学校に「就業技術科」が設置される(2009年)
(このことにより、高校と特別支援学校のボーダレス化が始まる)

高等学校による通級による指導の導入

放課後デイサービスの導入(2012年児童福祉法改正)

この25年間でかえって“後退”してしまったのではないか、と感じること

都立特別支援学校における「本人講座」「ボランティア講座」の参加者減

区市町村教委で実施されてきた障害者青年学級の取組の変化
(社会教育から障害福祉への所管変更、参加者・指導者の高齢化……)



概念レベル、現場レベル（主に学校教育の）の動きに比して、「障害者の社会教育」の取組は、かならずしも活性化しているとは言い難い。

これまで障害児・者（主に知的障害分野）の地域活動を担ってきたのは保護者であり、教員が中心だった。



保護者には福祉サービスの受益者という意識が高まり、教員たちの意識も大きな変化が……

この閉塞的状况をどのように脱していくか？ 社会教育にできることとは何か？

社会教育は「相互教育」である

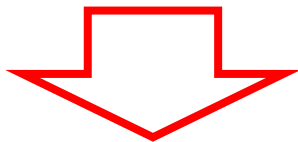
(互いが学び合う、教育者⇔被教育者の関係変化がポイント)

社会教育は「自己形成」を支援・援助する

(誰の自己形成か？ 障害当事者、保護者、支援者)

社会教育は「地域づくり」である

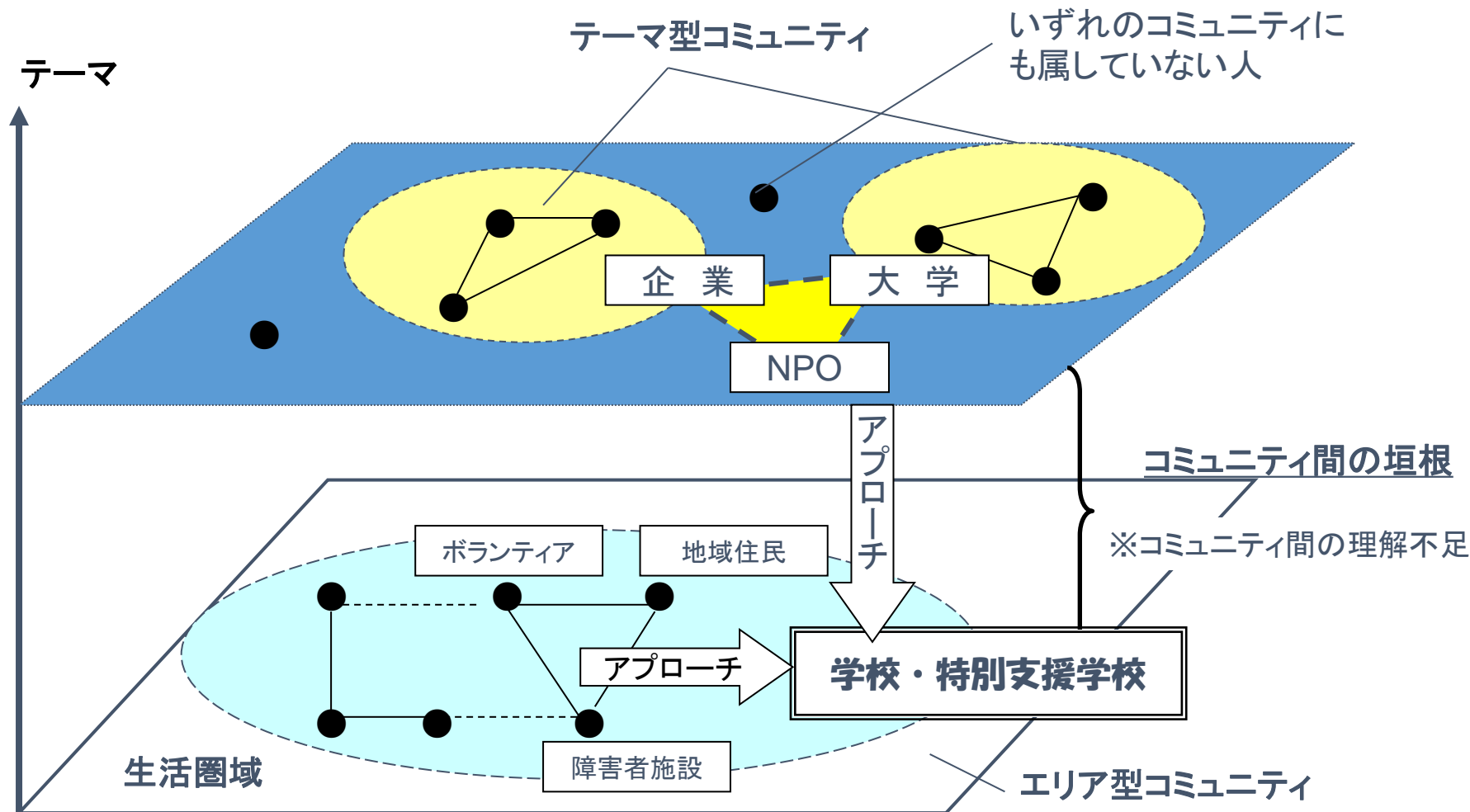
(「地域共生社会」づくりをどのようにして具現化するか)



「多元参加型教育コミュニティ」を創造する

エリア型コミュニティとテーマ型コミュニティの融合の視点

テーマ型コミュニティの参画に着目する



多元参加型教育コミュニティづくりを目指す社会教育

東京都が目指す「障害者の生涯学習」の仕組みづくりの方向

